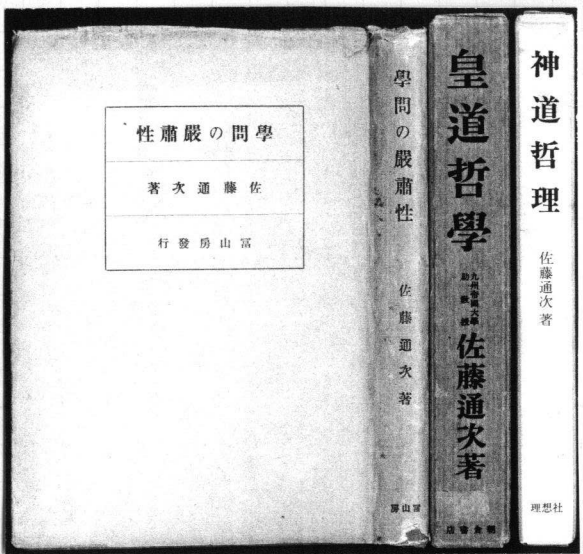


佐藤通次 きんじ ドイツ文學者、哲學者、文學博士。明治二十四年五月
 (二十六日)山形縣生れ、正成(二年七月、二百没)(一九二一九)。大正十五年
 京都帝國大學文學部獨文科卒。九州帝大助教授、文部省國民精神文化
 研究所所員を経て、昭和二十年亞細亞大學教授、三十七年皇學館大學
 教授(のち學長) 歴任。

譯著書、シルレル作『オレルヤンの乙女』(譯、大正十五年十月一日
 岩波書店「獨逸文學叢書」。再刊・昭和十二年十一月一日「岩波文
 庫」)、同西班牙の太子ドン・カルロス(譯、昭和二年九月、二十日岩波
 書店「獨逸文學叢書」。再刊・シラー作『スベインの太子ドン・カルロス』
 十五年(二月)二十六日「岩波文庫」、ゲーテ作『ヘルマンとドロテア』
 (譯、昭和七年九月、二十五日岩波書店「岩波文庫」、『皇道哲學』
 (昭和十六年十月、二十五日朝倉書店「現代哲學叢書」)、『學問の嚴
 肅性』(昭和十八年一月、二十五日富山房)、『身體論』(普及版・昭
 和十八年八月十日白水社)、『思想戰の根基』(合著・大日本言論報
 國會編、昭和十八年九月一日同盟通信社「日本思想戰叢書」)、『白
 本精神と生死觀』(合著、昭和十
 八年十月、二十五日有精堂出版部)、
 『岩波獨和辭典』(共著、昭和一
 十八年四月、二十日岩波書店)、『一
 の道』(調和の哲學)(昭和二十
 年六月五日元々社「民族教養新
 書」)、『階級闘争のこころの談
 話』(昭和二十四年六月、二十五日



日本文化連合会事務局「日本文化連合会叢書」()、註解「新しい時代の
六つの新しい神」(ポール・リシャール著、井上俊治訳、昭和四十二年
四月九日奈良・大神神社社務所)、
「神道哲理」(昭和五十七年一
月二十一日理想社)等。